



凡例

洪水避難ビル

① 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで、老人福祉センター・中央コミュニティセンター(2階・屋上)は建て替えに伴い、洪水避難ビルとして利用できません。

説明文

(1) この図は、庄内川水系新川流域について、想定最大規模降雨により浸水が想定される区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定区域等は、現在の整備状況を踏まえて、対象河川が氾濫(破堤、溢水、越水)した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションは、対象外の河川及び内水による氾濫等を考慮していません。

基本事項等

(1) 作成主体： 愛知県
 (2) 公表年月日： 令和2年5月29日
 (3) 対象河川： 新川、五条川、青木川、緑葉川、巾下川、矢戸川、境川、半之木川、水場川、鴨田川、合瀬川、中江川、新中江川、原川、大山川、新境川、西行堂川、池田川、外堀川、葉師川、新造川、新地藏川、地藏川(下流)

(4) 算出の前提となる降雨： 新川流域の24時間総雨量751mm
 五条川流域(下流)の24時間総雨量736mm
 五条川流域(上流)・大山川流域の24時間総雨量815mm
 青木川流域の24時間総雨量805mm
 支川の24時間総雨量836mm

浸水した場合に想定される水深

5.0m	安全確保	逃がれなかった場合は無理に避難せず屋内安全確保	
3.0m	立ち退き	立ち退き避難	
1.0m	5.0~10.0m未満の区域	4階以上	安全確保
0.5m	3.0~5.0m未満の区域	1から3階	立ち退き
0.3m	1.0~3.0m未満の区域	3階以上	安全確保
	0.5~1.0m未満の区域	1から2階	立ち退き
	0.3~0.5m未満の区域	2階以上	安全確保
	0.3m未満の区域	平屋建て、1階	立ち退き
			安全確保

※洪水時は市指定の洪水避難ビルへの避難に限らず、近くの頑丈な高い建物に避難する等、最善の行動を取ってください。